

ユニットコンピテンス		卒業コンピテンスに対する達成レベル (麻酔・救急ユニット)	
Ⅲ. 医学および関連領域の知識と応用			
千葉大学医学部学生は、卒業時に 医学・医療の基盤となっている以下の基礎、臨床、社会医学等の知識を有し、応用できる。			
4	病因と病態 1) 全身麻酔の合併症と術後患者管理を理解する。	基盤となる知識の修得が単位認定の要件である (Basic) B	
5	診断		
6	治療, 予防 2) 救急外来でよく遭遇する症候と、その対応について理解する。 救急患者の診断のための、緊急検査・緊急画像診断について理解する。 3) 外傷・熱傷の病態と治療について理解する。 4) 急性中毒、環境異常による病態について理解する。 5) ショック、敗血症、多臓器不全の病態を理解し、これらの病態に対する治療について理解する。 6) 心肺蘇生、プレホスピタルケア、および災害医療が必要となる状況や病態について理解し、これらの状況における診療戦略を理解する。 7) 麻酔の歴史を学ぶことによって、麻酔の概念を理解する。 8) 麻酔の機序を理解する。 9) 筋弛緩薬の種類と作用機序、臨床における使用上注意すべき事柄を理解する。 10) 痛みの生理・薬理を理解する。		
Ⅳ. 診療の実践			
千葉大学医学部学生は、卒業時に 患者・生活者を尊重し、安全で質の高い診療を実施するために、以下のことが適切に実施できる。			
11	Shared decision making (SDM) を実践できる。 11) 呼吸管理の概念と意義を理解する。 12) 麻酔に伴う循環動態の変動を理解する。 13) 術前患者管理の重要性を理解する。 14) 局所麻酔薬の作用機序・臨床使用法を理解する。 15) 吸入麻酔法・静脈麻酔法を理解する。 16) モニタリングの麻酔における有用性を理解する。 17) 全身麻酔の合併症と術後患者管理を理解する。 18) 救急蘇生法の目的、適応を理解する。 19) 一次救命処置、二次救命処置の施行方法について理解する。		E
基盤となる知識の修得が単位認定の要件である (Basic)			

ユニットコンピテンス		卒業コンピテンスに対する達成レベル (麻酔・救急ユニット)	
	20) 外傷・熱傷の病態と治療について理解する。 21) 周術期におけるノンテクニカル・スキルの重要性を理解する。 22) 急性腎不全, 急性肝不全の病態を理解し, これらに対する人工補助療法について理解する。 23) 重症患者の輸液・栄養管理について理解する。 24) 重症患者の呼吸・循環管理について理解する。		
V. 社会と医療			
千葉大学医学部学生は, 卒業時に 個人と社会のつながりを理解し, 社会と医療の発展のために, 以下のことができる。			
3	患者・生活者の疾病予防・健康増進の活動を支援できる。 25) 病院前救護 (プレホスピタル・ケア) について理解する。 26) 災害医療とトリアージについて理解する。	E	基盤となる知識の修得が単位認定の要件である (Basic)